

# キャット・フレンドリー・クリニック



## 猫への液薬のつけ方・軟膏の塗り方

近年猫の皮膚に直接垂らすようなスポットオンタイプの薬剤が主流となってきています。たとえばこのタイプはノミの駆除薬（数週間に1回の頻度のもの）では一般的で、また他の感染症予防にも使われています（駆虫薬として）。錠剤よりも簡便に与えられますが、確実に効果を得るために正しく使用する必要があります。液剤や軟膏は眼や耳の疾患の治療にも用いられます。このパンフレットは正しくお薬をつけられるように、何点かのコツを記載しています。



### 局所（皮膚）につけるスポットオンタイプの薬液

- 現在では、ノミや寄生虫に対する駆除剤の多くがスポットオンタイプで販売されており、猫へ使用がより簡単になってきた。しかし、薬が十分効果を発揮するには被毛にただついただけではないように、確実に皮膚に到達するようにすることが必要不可欠です。
- 猫を優しくおさえる - 誰か他の人に猫をおさえてもらおうと薬にできます。もし猫が動くようなら、タオルや毛布で猫をくるむと良いでしょう。
- 首の後ろ側（頭と肩）の毛をかき分け、皮膚が見えるようにします。



- 薬を皮膚に直接垂らします。薬の説明書はよく読みましょう。首の後方（首と肩）2か所に分け、半量ずつ塗布することを推奨している製品もあります。
- 極力被毛につかないように、できるだけ皮膚に直接、薬を滴下します。

**注意：** 犬用のノミ駆除剤を、決して猫に使用してはいけません。高濃度のペルメトリンを含有するものがあり、この成分は猫では命にかかわることがあります。不安な場合は、必ず獣医師に相談しましょう

## 点耳薬

- 「優しく」、なおかつ「確実に」と猫を保定する。2人で行うことができれば容易になるでしょう。猫が動いてしまう場合には大きなタオルか毛布でくるむと良いでしょう。
- 手で頭と耳をおさえて、薬をつける方の耳が一番高い位置にくるよう頭を傾けます。
- 頭を振らないよう頭と耳翼を押さえている間に、点耳薬の必要な量を耳道に垂らします。
- 耳道内に点耳薬が行きわたるように耳の根元をマッサージします。



## 点眼薬、眼軟膏

- 「優しく」、なおかつ「確実に」と猫を保定する。2人で行うことができれば容易になるだろう。猫が動いてしまう場合には、大きなタオルか毛布でくるむと良いでしょう。
- 手で猫の頭を押さえ、頭を傾けて鼻先を上に向かせます。
- 親指と他の指で、片方の目のまぶたを優しく開けます。
- 目の表面に点眼薬を数滴垂らすか、眼軟膏を直線状に塗布します。
- 目全体に薬が行きわたるようまぶたを閉じて優しくマッサージします。

## International Cat Care ([www.icatcare.org](http://www.icatcare.org))

とは、50年以上に渡って、世界中の飼育されている猫および野良猫へのケアや、思いやり・理解を深めることを目的とした活動をしているチャリティ団体です。我々は獣医療部門であるISFMを通じて、獣医師と協力しています。我々の活動は全て寄附金によって、行なわれています。



ISFMとは、国際的な猫のチャリティ団体であるInternational Cat Careの組織の1つで、イングランドおよびウェールズで登録されているチャリティ団体である。チャリティ番号117342

